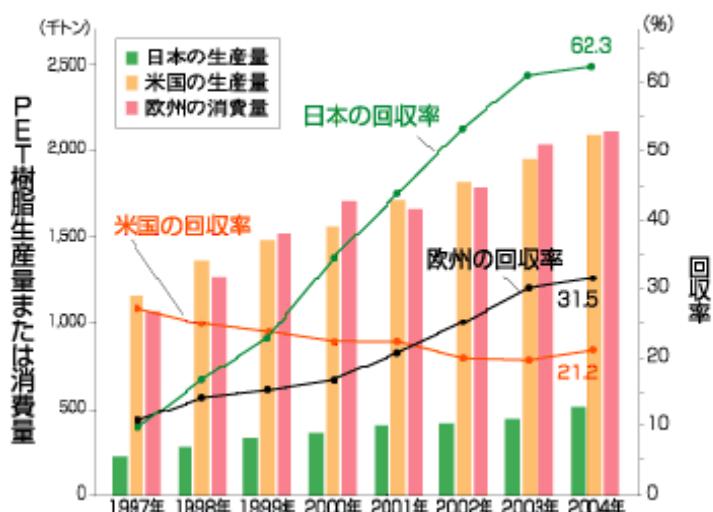


## PETボトルリサイクル推進協議会の自主行動計画 とその活動について

- ・PETボトルリサイクル推進協議会は3R推進に向けた今後5年間の自主行動計画を策定しました。
- ・「2010年度回収率75%以上」を達成します。
- ・2010年度に主な容器サイズ・用途毎に原単位で2004年度比3%の「軽量化」を実現します。

我々の3R推進活動は、広報誌、展示会やホームページ等を通じて広く発信します。

●日米欧のPETボトルリサイクル状況比較



### < 日米欧のPETボトルリサイクル状況比較 >

PETボトルのリサイクルは容器包装リサイクル法のもとで順調に進んできました。2004年度は、精査した事業系回収量81千トンを加えた回収率が前年度を上回る62.3%を達成するとともに、これまでどおり世界最高水準をキープしています。

日本、欧州、米国の回収率を比較してみると、2004年の欧州は31.5%（推定）、米国は21.2%（推定）で、日本のPETボトルリサイクルが進んでいることは明らかです。

2006年3月28日

PETボトルリサイクル推進協議会

# PETボトルリサイクル推進協議会の自主行動計画 (2010年度達成目標)

## リデュース

新たな技術開発等を行い、主な容器サイズ・用途毎に2004年度実績比で1本あたりの重量を3%軽量化する。

## リユース

リターナブルシステムの調査研究を行う。

## リサイクル

回収率75%以上を達成する。

つぶしやすい容器の開発を目指す。  
つぶす機械の調査・開発・普及を目指す。  
簡易洗浄して排出するよう啓発活動を継続する。

研究会等を立ち上げ、自主回収等の実情について調査・研究を推進する。

### <その他識別表示等の推進>

2010年度識別表示実施率95%以上を継続。

自主設計ガイドラインに基づいて、環境配慮設計の容器を継続して開発する。

輸出量の把握。

事業系回収量の把握。

市町村独自処理量の把握。

## リサイクル：2010年度回収率75%以上の達成

### 長期回収率目標と自主行動計画

自主行動計画での2010年度回収率75%の達成は、2014年度長期回収率目標80%以上の通過点と考えており、目標の達成に向けての回収量の捕捉を始めとする種々の施策を推進します。

	目標年度	目標回収率	設定年度
長期回収率目標	2014年度	回収率80%以上	2004年度
自主行動計画	2010年度	回収率75%以上	2005年度

### これまでの回収率の推移

容器包装リサイクル法の開始された1997年より市町村回収率は年々増加して来ましたが、2004年度の市町村回収率は46.4%と初めて前年度を下回りました。

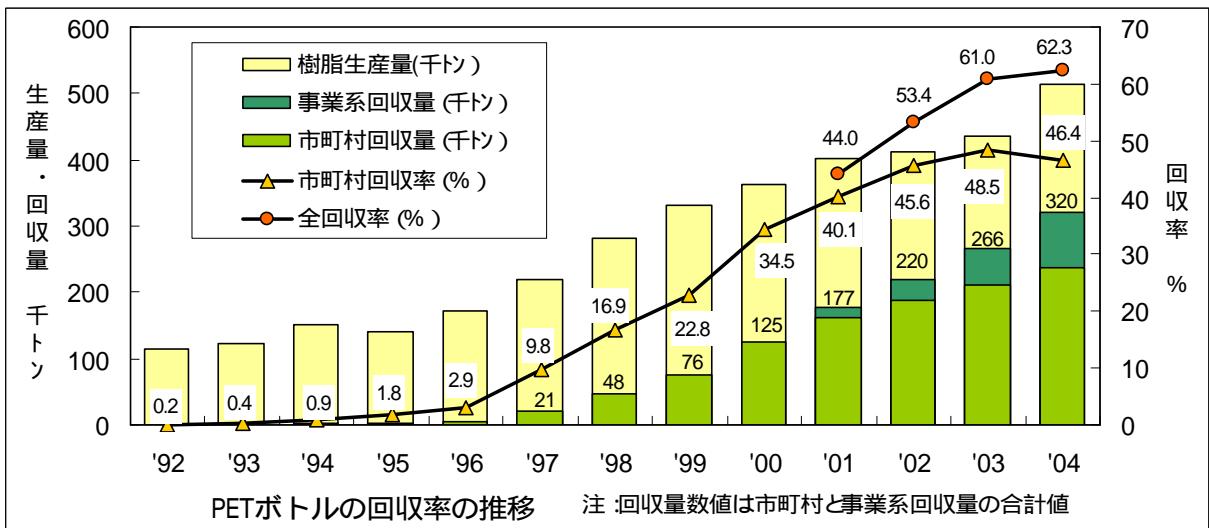
一方、PETボトルリサイクル推進協議会では2001年度から事業系回収量の調査を行っており、2004年度の事業系回収量は8.1万トンとなっています。

その結果、事業系回収量を含めた全回収率は、62.3%と前年度を1.3%上回りました。

#### [回収率の定義]

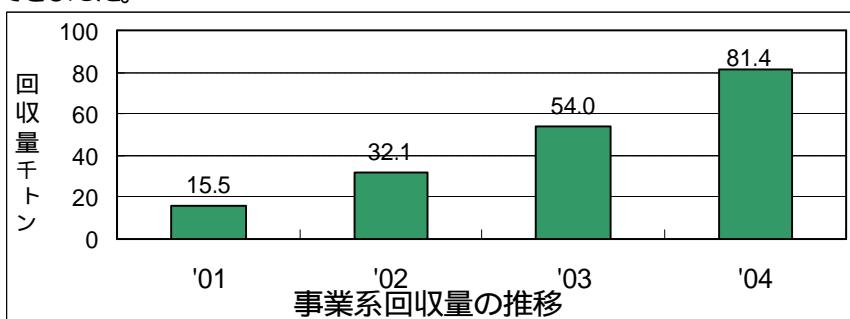
全回収率 = (市町村回収量 + 事業系回収量) / PETボトル用樹脂生産量

市町村回収率 = 市町村回収量 / PETボトル用樹脂生産量



## 事業系回収量の調査

スーパー、コンビニ、自販機、鉄道、高速道路などから事業者によって回収される使用済みPETボトルの回収量を事業系回収量と称しています。PETボトルリサイクル推進協議会では2001年度からこの事業系にて回収され、国内で再商品化または輸出されているものを対象とし、産業廃棄物事業者などの協力を得ながら、アンケートによる調査を第三者調査機関に委託し、事業系回収量の把握を行ってきました。



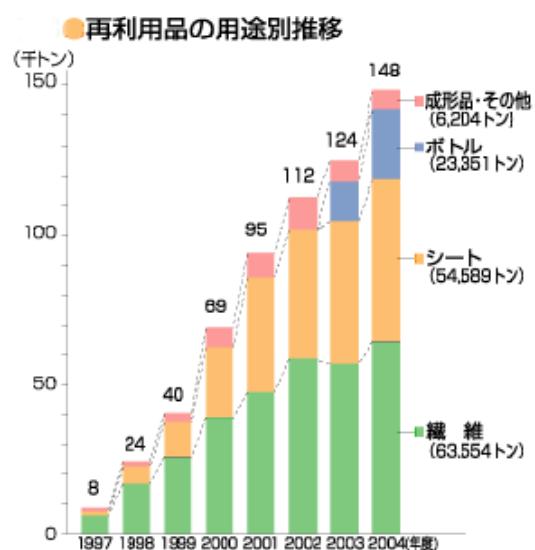
## 再利用品の用途別推移

右図は指定法人経由の分別収集されたPETボトルが再利用された再生樹脂量とその用途別の推移を示しています。

2004年度の再生樹脂量は14.8万トンで前年比119%の伸びを示しています。

再生樹脂の用途としては、繊維製品、シート製品、ボトル製品および成形品・その他に分類されます。

2004年度は、従来用途である繊維製品とシート製品への利用で全体の80%を占めました。また、ボトルtoボトルが2004年度から商品として店頭に出回るようになり、ボトル製品が大きな伸びを示しました。



(出所) (財)日本容器包装リサイクル協会

# リデュース：PETボトルの軽量化の推進

## PETボトル軽量化に対する自主行動計画

2010年度までに新たな技術開発等を行い、主な容器サイズ・用途毎に2004年度実績比で1本あたりの重量を3%軽量化する。

## PETボトル軽量化の過去の実績

用途	サイズ	軽量化度合い	期間
耐熱ボトル	2,000ml	26%	過去20年間
	500ml	19%	過去8年間
耐圧ボトル	1,500ml	35%	過去20年間

## PETボトルの用途（種類）

PETボトルには主に4つの用途（種類）があります。それぞれの用途に応じてボトルに要求される性能が異なり、軽量化に対する技術的対応も違ってきます。

自主行動計画では、主な用途として、耐熱用、非耐熱用および耐圧用を取り上げ、軽量化を推進します。

非炭酸系内容物		炭酸系内容物	
耐熱用	非耐熱用（無菌充填用）	耐圧用	耐熱圧用
口部：白色 	口部：透明 	口部：透明 	口部：白色 
底部：凹型	底部：凹型	底部：ハッキッド（花弁）型	底部：ハッキッド（花弁）型
高温の内容物を充填後、キャップを取り付け密封し、冷却します。 ・ボトルに耐熱性が要求されるとともに、冷却後の負圧に耐えるように設計されています。	予め殺菌したボトルに、殺菌済みの内容物を常温で充填し、殺菌済みのキャップを取り付け密封します。	炭酸系内容物を低温充填・密封します。内圧が発生するため耐圧性が要求されます。 ・自立性のために、底は5本足のハッキッド形状となっています。	果汁入り炭酸系内容物を充填・密封後、熱水シャワーにて熱殺菌する用途のものです。 ・耐圧性と耐熱性とが要求されます。

## PETボトルのサイズ

容器包装リサイクル法の対象となるPETボトルの指定表示製品としては、清涼飲料、しょうゆ、酒類および乳飲料等用の4つが対象となっています。

それぞれの指定表示製品にて、主なサイズが異なります。それら主なサイズにて、軽量化を推進します。

例えば清涼飲料の主なサイズとしては、大型ボトルとして2,000ml および1,500ml 小型ボトルとして500ml および350ml があります。

## PETボトルリサイクル推進協議会の広報活動

PETボトルリサイクル推進協議会は広報誌や展示会等を通じて、3R推進に向けた取り組みを発信しています。詳細はホームページ(URL <http://www.petbottle-rec.gr.jp>)にてご覧下さい。

### 発行している主な広報誌



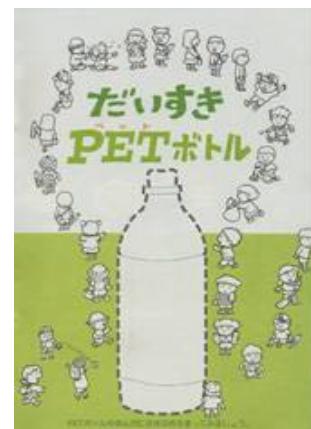
年次報告書  
年1回 / 3万部



広報誌RING  
年2回 / 3万部



再利用品カタログ  
年1回 / 3万部



だいすきPETボトル  
(小冊子) 3万部

### 環境展等展示会への出展

環境展等の展示会に積極的に参加し、PETボトルへの理解とリサイクルの促進に努めています。



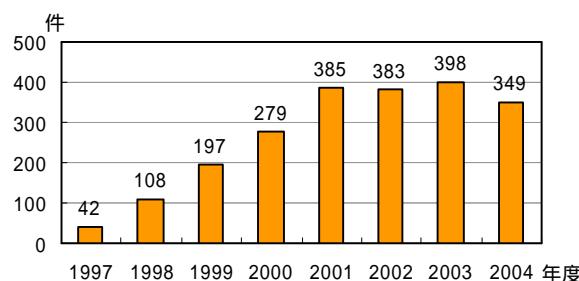
エコプロダクツ展への出展風景

### PETボトルリサイクル推奨マークの登録

PETボトル協議会では「PETボトルリサイクル推奨マーク(登録商標)」の登録を行っています。これは、マークつきの商品がPETボトルリサイクルに寄与している側面の情報を広く社会に提供し、消費者にリサイクル商品選択を促しPETボトルのリサイクル推進に役立てることを目的としています。



PETボトルリサイクル推奨マーク



PETボトルリサイクル推奨マークの登録件数の推移

## PETボトルリサイクル推進協議会の概要

### 事業目的

- 1.PETボトルのリサイクルに関する啓発
- 2.PETボトルのリサイクルに関する研究及び調査
- 3.PETボトルのリサイクルに関する指導及び建議
- 4.PETボトルのリサイクル推進に係わる関係団体等との連携及び協力
- 5.会員相互の情報交換
- 6.その他推進協議会の目的を達成するために必要な事業

設立：1993(平成5)年6月22日

会長：和田 國男(東洋製罐株式会社 代表取締役副社長)

正会員団体：社団法人全国清涼飲料工業会	(会員企業等数 198)
PE Tボトル協議会	(会員企業等数 39)
社団法人 日本果汁協会	(会員企業等数 134)
日本醤油協会	(会員企業等数 1509)
酒類PETボトルリサイクル連絡会	(会員企業等数 12)

事業所所在地 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル2階

電話 03-3662-7591

FAX 03-5623-2885

<http://www.petbottle-rec.gr.jp>

### 主な活動内容：

- 1.リサイクルを促進するための広報活動
  - (1)正しい知識及び情報の提供活動  
展示会出展、広報誌の発行 配布、工場の紹介、ビデオ、再生品の紹介等
  - (2)市町村分別収集への協力  
主要市町村の訪問調査、事例紹介等
  - (3)経済的リサイクルシステム構築  
関連団体との連携及び国内外の先進国事例等研究
- 2.再商品化計画の支援

### 本件に関するお問い合わせ先

P E Tボトルリサイクル推進協議会  
松野・新美

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル2階  
TEL : 03-3662-7591  
FAX : 03-5623-2885  
URL : <http://www.petbottle-rec.gr.jp>  
E-mail : [petbottle@pop12.odn.ne.jp](mailto:petbottle@pop12.odn.ne.jp)